



みるということ / Seeing is

四方謙一 個展 / Kenichi Shikata Solo Exhibition

会期：2024年11月8日（金）～11月17日（日）*11月12日（火）休み

時間：13:00-19:00 *最終日18:00迄

H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Gallery では、四方謙一個展「みるということ / Seeing is」を開催いたします。

1983年、京都府に生まれた四方謙一は、2007年早稲田大学芸術学校建築学科を卒業。現在は、東京、千葉を拠点に、幾何学や素材の特性によって構成されるパターンに周囲の環境を取り込む彫刻、インスタレーションや、写真などを制作し、多数の国際芸術祭への参加、建築プロジェクトの一部として多様な作品を設置するなど、精力的に活動を行なっている。

野老朝雄氏（美術家）に師事した四方は、作品の構想から、作図、制作過程を論理的に組み上げていくが、その一方で制作の段階に於いて、彼自身も想像していなかったような作品自身が発する複雑で多様な見え方に驚きと喜びを感じながら作品制作を行なっている。主にステンレスを素材としていることから、ともすると機械的で端正な作品として捉えられることもあるが、そのような偶然性をも受容し包含しているということを、実際に対峙した我々に感じさせてくれる作品である。

弊ギャラリーでは、初の個展開催となり、最新作を展示いたします。この機会に是非ご高覧下さいませよう、皆様のご来廊をお待ちしております。

Director：西山 勝 Masaru Nishiyama

略歴：

1983 京都府生まれ

2004 野老朝雄氏に師事

2007 早稲田大学芸術学校建築設計科卒業

2024 「越後妻有2024 大地の芸術祭 冬」まつだい農舞台フィールドミュージアム（十日町／新潟）

2023 - 2022 「東京ビエンナーレ2023」大原第5ビル（東京）

「黒島・福浦アートプロジェクト」重伝建 黒島地区・福浦港（輪島・志賀／石川）*22 - 23年参加

2021 「奥能登国際芸術祭2020+」旧大坊小学校・旧子牛競小屋（珠洲／石川）

2020 「Aesthetica Art Prize 2020」"Short listed" York Art Gallery（York／United Kingdom）

2022 「Flowing time reflecting on the river」MIYASHITA PARK（東京）*常設

2019 「第28回UBEビエンナーレ」"山口銀行賞" 彫刻の丘（宇部／山口）

2018 「bubbles in flow」 「soragiwa」 関西国際空港 *常設

2018 「GLOWING GROWING GROUND」 大阪国際空港 *常設、他多数。

ステートメント：

僕がつくるものは、設置する場所の事や、周囲の人や自然、社会情勢、また、もっと広く周囲に目を向け、それらがどのように関わり結びついてその景色があるのか、その場所がこれからどのように変化していくか、身近な場所から広がる風景まで、それら読み解き考えるための媒体でもあります。僕はこの媒体を、単純な幾何学や素材の特性によって構成されるパターンを用い、主に彫刻やインスタレーション、写真作品などを制作しながら、場所や、それぞれの“モノ”や“事”がどのように繋がっているのか、世界の在りようを探っているのだと思います。

プロジェクト作品：



「dancing light in the cradle」
ステンレス／ 83×83×66cm／2024年



「Gravity」
ステンレス／ 70×57cm, 60×60cmの組合せ、8連作
2023年

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F | 2-38-20 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

Tel. & Fax.: 03-6256-8986 e-mail : masaru_nishiyama@hartbeat.co.jp URL: <https://hartbeat.co.jp> Director : 西山勝 Masaru Nishiyama